

株式会社パルコ 2015年度第3四半期(3月～11月)説明資料

1. 業績概要

**パルコグループ各社の好調により連結・単体ともに増収
連結では、営業利益、経常利益ともに3期連続で過去最高益を更新**

□ 第3四半期 業績 百万円

連結	当期 3月～11月	前期 3月～11月	増減額	前年 同期比
売上高	204,230	197,300	6,929	103.5%
営業利益	9,295	8,834	461	105.2%
経常利益	9,175	8,811	363	104.1%
四半期純利益※1	4,749	5,045	▲295	94.1%
EBITDA※2	13,901	13,135	766	105.8%

単体	当期 3月～11月	前期 3月～11月	増減額	前年 同期比
売上高	184,213	179,800	4,413	102.5%
営業利益	8,637	8,542	95	101.1%
経常利益	8,601	8,504	97	101.1%
四半期純利益※1	4,683	4,995	▲312	93.7%
EBITDA※2	12,913	12,527	385	103.1%

※1 四半期純利益の減少は主に千葉パルコ閉店に伴う店舗閉鎖損失によるものです
※2 EBITDAは「営業利益+減価償却費」にて算出しています

□ セグメント別 業績 百万円

連結	当期 3月～11月	増減額	前年 同期比	
ショッピング センター事業	売上高	183,318	5,056	102.8%
	セグメント利益	8,614	336	104.1%
専門店事業	売上高	15,169	1,160	108.3%
	セグメント利益	259	32	114.5%
総合空間 事業	売上高	15,625	1,202	108.3%
	セグメント利益	439	178	168.2%
その他の 事業	売上高	5,048	▲191	96.3%
	セグメント利益	13	▲105	11.1%
連結	売上高	207,787	7,324	103.7%
	セグメント利益	9,295	461	105.2%

※ セグメント別の業績における売上高には、営業収入が含まれています
※ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっています
※ (株)パルコのエンタテインメント事業の業績は、「その他の事業」に含まれています
※ 事業間での調整があるため、各事業業績の合計と連結の数値は異なります

□ 販売費及び一般管理費の主な内訳 百万円

連結	当期 3月～11月	増減額	前年 同期比
人件費	7,649	164	102.2%
借地借家料	6,670	413	106.6%
宣伝費	2,752	67	102.5%
業務委託費	4,011	▲11	99.7%
減価償却費	4,606	304	107.1%
販売費及び 一般管理費	25,192	944	103.9%

□ 営業外損益の主な内訳 百万円

連結	当期 3月～11月	増減額
営業外収益	213	▲146
受取利息	31	▲1
受取配当金	21	▲12
営業外費用	333	▲48
支払利息	296	▲32

□ 特別損益の主な内訳 百万円

連結	当期 3月～11月	増減額
特別利益	1,250	1,148
投資有価証券売却益	1,220	1,120
特別損失	2,627	2,066
店舗閉鎖損失	1,886	1,886
固定資産除却損	678	176
減損損失	42	▲11

- ・ 連結売上高は、(株)パルコの売上高堅調と専門店事業(株)ヌーヴ・エイの拠点増加、総合空間事業(株)パルコスペースシステムズの工事受注増などにより、増収
- ・ 連結営業利益、経常利益は、売上高増加に加え、前年度出店した福岡パルコ新館、名古屋ゼロゲートの寄与などにより増益
- ・ 連結四半期純利益は、2016年の閉店を発表した千葉パルコに係る店舗閉鎖損失などにより減益
- ・ (株)パルコとして関西屈指の大都市である神戸エリアへの初進出となる三宮のゼロゲート出店を発表
- ・ 当社提案の宇田川町15地区(渋谷パルコを含む地域)開発計画における都市計画が東京都により決定
- ・ 2016年は、春に札幌ゼロゲート、初夏に仙台の新館を開業予定。以降も、2017年春に京都のゼロゲート、2017年秋に上野への出店を計画

2. 単体 店舗営業概況

テナント売上高は、新店効果などにより都心型店舗グループが牽引し、全店計では前年同期を上回り堅調に推移

□ 単体 店舗別テナント売上高

百万円

店舗名	当期3月～11月	
	売上高	前年同期比
都心型店舗グループ	札幌パルコ	9,081 106.0%
	仙台パルコ	9,628 100.7%
	池袋パルコ	20,375 98.2%
	渋谷パルコ	11,533 106.0%
	静岡パルコ	7,504 103.4%
	名古屋パルコ	26,699 104.9%
	広島パルコ	12,184 98.1%
	福岡パルコ	14,428 144.5%
8店舗 計	111,434 106.3%	
コミュニティ型店舗グループ	宇都宮パルコ	3,232 98.1%
	浦和パルコ	12,550 96.5%
	新所沢パルコ	6,994 104.2%
	千葉パルコ	3,942 92.1%
	津田沼パルコ	6,470 97.9%
	ひばりが丘パルコ	5,440 97.1%
	吉祥寺パルコ	5,200 96.0%
	調布パルコ	12,554 100.1%
	松本パルコ	5,207 95.1%
	大津パルコ	2,722 83.6%
	熊本パルコ	3,781 100.0%
11店舗 計	68,097 97.3%	
全店計	179,531 102.7%	
既存店計	174,303 99.9%	

□ 単体 テナント売上高四半期別推移 (既存店計)

	3月～11月	3月～5月	6月～8月	9月～11月
前年同期比	99.9%	99.0%	100.6%	100.2%

□ 単体 買上客数、客単価 前年同期比別推移 (既存店計)

	3月～11月	3月～5月	6月～8月	9月～11月
買上客数	97.8%	98.6%	97.7%	96.9%
客単価	101.2%	100.2%	101.8%	101.9%

※ 既存店計には、名古屋パルコmidi(2015年3月27日開店)、福岡パルコ新館(2014年11月13日開店)および本館増床部(2015年3月19日開店)の値は含まれません

※ 買上客数、客単価、アイテム別・改装ゾーン売上高の前年同期比、および、クレジット概況の売上高シェアは、『店舗総合売上高』によるものです。『店舗総合売上高』とは、店舗の総合的な販売力を表示するため、テナント売上高に、パルコ劇場などの売上高・固定賃料テナントの売上高を加えたものです

※ 営業面積は、テナント面積および共用面積です

※ パルコカード会員数と単体売場概要は2015年11月末現在の数値です

□ 単体 アイテム別売上高 前年同期比

アイテム分類	当期3月～11月	
	全店計	既存店計
衣料品	婦人服	96.0% 94.7%
	紳士服	93.4% 93.1%
	衣料品総合	106.5% 102.3%
	計	98.4% 96.6%
身回り品	靴	102.1% 101.8%
	バッグ	110.3% 110.3%
	装身具	99.3% 98.4%
	化粧品	111.1% 109.8%
計	105.0% 104.5%	
雑貨	教養雑貨	103.8% 98.3%
	趣味・家庭雑貨	106.1% 102.7%
計	105.5% 100.9%	
食品	99.7% 99.3%	
飲食	111.1% 99.5%	
その他(サービスほか)	97.7% 97.6%	

□ 単体 クレジットカード概況

クレジットカード取扱高(百万円)	88,486
前年同期比、売上高シェア	104.0% 42.7%
パルコカード取扱高(百万円)	44,440
前年同期比、売上高シェア	103.8% 21.5%
パルコカード会員数(千人)	1,864

□ 単体 改装状況

改装規模	区画数	334
	内、新規出店区画数	198
	改装面積	約33,000㎡
改装効果	ゾーン売上高前年同期比	119.8%

□ 単体 売場概要

店舗数	19	契約法人数	831
テナント総数	2,321		
営業面積	約456,000㎡		

- ・テナント売上高は、前年の消費増税前駆け込み需要の反動影響を受けた第1四半期を除き、既存店計も堅調に推移
- ・拠点拡大による相乗効果のあった福岡パルコ(既存店売上高前年同期比101.1%)、名古屋パルコ(同102.9%)に加え、インバウンド需要に対応した編集ゾーンが好調に推移した渋谷パルコ(海外客売上高シェア*10.4%)、札幌パルコ(同*6.2%)など、都心型店舗グループが売上高を牽引
- ・コミュニティ型店舗では、隣接する立体駐車場の建替に合わせ1階エントランスフロアの大型改装を実施した調布パルコや、マーケットニーズに応えテナントの充実を図った新所沢パルコなど、効果的な改装が進捗した店舗が売上高に貢献
- ・アイテム別では、衣料品総合や、好調が持続しているバッグを中心とした身の回り品のほか、雑貨が好調

* 海外客売上高シェアは、3月から11月までの「店舗総合売上高」における海外発行クレジットカード売上高の比率です